

# 平成20年度当初予算会計別一覧表

単位：千円

区 分	20年度予算額(A)	19年度予算額(B)	差引(A)-(B)	
一 般 会 計	23,843,239	24,343,171	△ 499,932	
特 別 会 計	国民健康保険事業	5,528,367	5,511,399	16,968
	介護保険事業	4,262,458	4,003,347	259,111
	老人保健事業	507,676	6,111,313	△ 5,603,637
	後期高齢者医療事業	574,078	0	574,078
	簡易水道事業	220,694	219,436	1,258
	温泉配湯事業	9,540	9,350	190
	住宅資金貸付事業	89,754	95,299	△ 5,545
	高齢者・障害者住宅 整備資金貸付事業	3,523	4,272	△ 749
	土地取得事業	26,000	54,000	△ 28,000
	上井羽合線沿道土地 区画整理事業	91,337	399,139	△ 307,802
	下水道事業	4,655,126	3,275,133	1,379,993
	駐車場事業	31,824	33,492	△ 1,668
	集落排水事業	602,798	762,016	△ 159,218
	国民宿舎事業	74,675	89,104	△ 14,429
	高 城 財 産 区	10,074	5,240	4,834
	小 鴨 財 産 区	2,038	1,070	968
	北 谷 財 産 区	158	158	0
	上 北 条 財 産 区	28,572	29,529	△ 957
小計	16,718,692	20,603,297	△ 3,884,605	
合計	40,561,931	44,946,468	△ 4,384,537	

## 平成20年度予算 主な事業一覧表

担当課	会計名	事業名	ページ
税務	一般会計（歳入）	市税	1
財政	〃	地方特例交付金	2
財政	〃	地方交付税	2
財政	〃	基金繰入金	3
給食	〃	学校給食費	3
総務	一般会計（歳出）	市制55周年記念式典	4
企画	〃	市の鳥選定事業	4
企画	〃	若者向け情報サービス提供事業	5
参画	〃	協働のまちづくり活動助成事業	5
参画	〃	羅州市との姉妹都市締結15周年交流事業	6
国保	〃	特別医療助成（単市 小学校就学時～中学校就学前児童）	7
福祉	〃	防災にかかる障がい者情報の共有化の同意依頼通知	7
健康	〃	妊産婦健康診査	8
健康	〃	食育シンポジウム	9
健康	〃	健康づくり体操事業	9
農林	〃	担い手規模拡大促進事業費補助金（6年以上の作業受託）	10
農林	〃	肉用牛品質向上対策事業費補助金	10
農林	〃	大鴨地区農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業（基盤整備）	11
農林	〃	鳥取県植樹祭開催事業	11
農林	〃	枯松伐採促進事業費補助金	12
管理	〃	飛龍閣整備事業	12
建設	〃	臨時河川等整備（福光川整備）	13
建設	〃	洪水ハザードマップ作成	13
景観	〃	指定道路図及び指定道路調書作成委託料	14
学校	〃	「明日の倉吉の教育を考える委員会」事業	14
学校	〃	複式学級解消教員加配費用協力金	15
学校	〃	小学校元気はつらつプラン	15
学校	〃	中学校元気はつらつプラン	16
文化	〃	県保護文化財鳥飼家住宅屋根他修繕工事	16
博物館	〃	昭和レトロ展 情景王 山田卓司の世界	17
博物館	〃	倉吉の美術100年展	17
給食	〃	給食センター（公会計化に伴う賄材料費の計上）	18
駅	上井羽合線		19
商工	国民宿舎		20

H20年度当初 主な事業説明(前年度当初比較)

項目	区分		説明	
市税	個人市民税	均等割	老年者非課税措置(経過措置)の廃止に伴う増	1,500千円
		所得割	老年者非課税措置(経過措置)の廃止に伴う増	5,000千円
	法人市民税	法人税割	算出基礎は大手5社の前年度決算額により算出しており、H19年度3月期決算額がH18年度3月期決算額より大幅に減少したことによる	△ 72,000千円
	固定資産税	不均一課税の廃止	関金地区の税率1.4%から1.5%税率変更による増	10,000千円
		土地	地目変更、宅地の負担調整による増	42,000千円
		家屋	新增築の増	35,000千円
		償却資産	19年度決算見込額に前年度伸び率を乗じて算出した額	15,000千円
	19年度決算見込額において19年度当初予算額より増加した額		23,000千円	
	たばこ税		たばこ販売本数の3年平均減少率で算出	△ 28,000千円

担当課	財政課						
事業名	地方特例交付金						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳入	区分	金額			
	款	9 地方特例交付金					
	項						
	目						
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7	57,002	59,012					59,012
事業の概要、対象、意図など							
<p>地方特例交付金 減収補てん特例交付金・・・住宅借入金等税額控除による個人住民税の減収額を補てんするため、創設（平成20年度：1,552億円）基準財政収入額に75%算入。15,500千円 児童手当特例交付金・・・平成19年度制度拡充に伴う地方負担分について、引き続き措置。基準財政収入額に100%算入。25,529千円</p> <p>特別交付金 減税補てん特例交付金が平成18年度をもって廃止されたことに伴う経過措置。交付金総額2,000億円(H19～H21)。17,983千円</p>							

担当課	財政課						
事業名	地方交付税						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳入	区分	金額			
	款	10 地方交付税	1 地方交付税	7,475,000	普通交付税	6,750,000	
	項	1 地方交付税			特別交付税	725,000	
	目	1 地方交付税					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
7	7,441,000	7,475,000					7,475,000
事業の概要、対象、意図など							
<p>○普通交付税</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地方再生対策費の創設 地方が自主的・主体的に行う活性化施策に必要な経費を基準財政需要額において包括的に算定。財政の厳しい地域に重点的に配分。試算では2億6百万円。</li> <li>●推計方法 個別算定経費 △1.0% 包括算定経費 △2.5% 公債費 各団体で推計</li> </ul> <p>○特別交付税 合併に伴う財政支援措置 H18年度 125,000千円 H19年度 83,000千円 H20年度以降はなし</p>							

担当課	財政課						
事業名	基金繰入金						
予算科目	会計	一般	節				説明
	歳入歳出	歳入	区分		金額		
	款	18 繰入金					
	項	1 基金繰入金					
	目						
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位: 千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
19	961,322	686,732				686,732	0
事業の概要、対象、意図など							
○基金繰入金・・・基金は特定の目的のために設置されたものであり、その目的の達成のために必要な場合は一般の会計に繰入れることがある。							
主な基金繰入金							
●財政調整基金繰入金・・・1,420千円 (基金利子と同額)							
●職員退職手当基金繰入金・・・300,000千円 (退職手当349,507千円に充当)							
●減債基金・・・329,543千円 (公債費の一部に充当)							
●若者の定住化促進基金繰入金・・・7,836千円							
充当先事業一覧							
1. 若者向け情報サービス提供事業 1,057千円							
2. 特別医療扶助費 (小学生) の一部 6,779千円							

担当課	学校給食センター							
事業名	学校給食費							
予算科目	会計	一般	節				説明	
	歳入歳出	歳入	区分		金額			
	款	20 諸収入	10 教育費雑入		251,254	学校給食費		251,254
	項	4 雑入						
	目	3 雑入						
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位: 千円)					
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源	
25	0	251,254				251,254	0	
事業の概要、対象、意図など								
学校給食費の公会計化に伴い、児童生徒の保護者等から給食費を徴収するものである。一食当たりの金額は、次のとおり。小学校児童及び教職員並びに給食センター職員：259円、中学校生徒及び教職員：308円。								
なお、市内の小中学校に通う子どもが3人以上いる世帯の第3子以降の給食費については、3割減免を実施する。								
歳出積算根拠 (金額)								
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など								
小学校：259円×3,069人×200食×98%=155,794,716円								
中学校：308円×1,649人×200食×98%=99,546,832円								
3割減免：(-259円)×263人×200食×0.3=-4,087,020円								
計251,254,528円								

担当課	総務課					
事業名	市制55周年記念式典					
予算科目目	会計	一般会計	節			説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	8 報償費	875	報償金	100
	項	1 総務管理費			賞賜金	775
	目	11 諸費	11 需用費	261	消耗品費	146
					印刷製本費	115
			12 役務費	78	通信運搬費	12
					筆耕翻訳料	66
			14 使用料及び賃借料	182	会場借上料	132
				器具借上料	50	

予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位: 千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
39	896	1,396					1,396

事業の概要、対象、意図など  
 市制発足の周年にあわせ市民と共に市政の発展を祝うとともに、市に対して功労及び善行のあった方を表彰する。

歳出積算根拠 (金額)  
 報償金 地区公民館等出演者謝金 100千円 賞賜金 功労・善行表彰記念品 550千円  
 印刷製本費 受彰者名簿・表彰状印刷費 115千円 筆耕翻訳料 表彰状筆耕料 66千円  
 会場借上料 未来中心大ホール等使用料 132千円

担当課	企画課					
事業名	市の鳥選定事業					
予算科目目	会計	一般	節			説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額		
	款	2 総務費	1 報酬	30	市の鳥選定委員会委員	30
	項	1 総務管理費	11 需用費	20	消耗品費	20
目	7 企画費					

予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位: 千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
34~35	0	50					50

事業の概要、対象、意図など  
 倉吉市の緑豊かな風土と自然環境を大切にする心の象徴として、倉吉市の「市の木」、「市の花」は既に制定されている。市制施行55周年を期に鳥類の保護、自然環境の保護意識をさらに高揚させるため「市の鳥」を定め、制定するもの  
 【対象】市内全域の自然環境と市民  
 【意図】自然環境の保全と保護意識の醸成が図られる

歳出積算根拠 (金額)  
 市の鳥選定委員会委員報酬 5人×3回×2,000円  
 消耗品費 アンケート・投票用紙

歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など

担当課	企画課						
事業名	若者向け情報サービス提供事業						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	2 総務費	12 役務費	1,057	手数料	1,057	
	項	1 総務管理費					
	目	7 企画費					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
35	0	1,057				1,057	0
事業の概要、対象、意図など							
<p>人と人とのつながりを促進・サポートする会員制のコミュニティ型Webサイトを開設し、このサイトを活用して、転出した若者と市内企業が就職情報の交換をしたり、地元の若者からまちの情報を得られるようにすることで、若者のUターンを促進する。</p> <p>活用例としては、若者や企業がサイトの会員になることで専用ページを取得し、若者なら希望職種や自己分析、企業なら求める人材や特色を書き込み互いに情報交換する。</p> <p>転出した若者にとっては、入手が困難な倉吉の企業の就業情報を入手でき、また、企業担当者と直接つながりができることで就職活動の時間的・経済的な制約が緩和される。また、市内企業にとっては、大都市の企業に奪われ確保が困難な優秀な人材とつながりができるメリットがある。</p>							
歳出積算根拠 (金額)							
地域SNSシステムインストール手数料 350千円 デザイン設定手数料 107千円 ホスティング手数料 240千円 保守手数料 360千円							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							
若者の定住化促進基金繰入金 1,057千円							

担当課	市民参画課						
事業名	協働のまちづくり活動助成事業						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	2 総務費	19 負担金補助及び交付金	500	交付金	500	
	項	1 総務管理費					
	目	7 企画費					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
37	0	500					500
事業の概要、対象、意図など							
<p>(意図) 第10次倉吉市総合計画の「期待される市民、事業者等との協働」に示された取り組みの中で、市民のアイデアを生かし、行政とともに課題解決していく新たな協働事業を助成の対象とする交付金事業を創設し、新たな公共領域（協働領域）を担う市民活動を活発にする。</p> <p>(対象) 5人以上で構成された市民活動団体</p>							
歳出積算根拠 (金額)							
上限100,000円×5団体 助成額は、助成対象経費の2分の1以内とし、10万円を上限とする。							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							

担当課	市民参画課						
事業名	羅州市との姉妹都市締結15周年交流事業						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	2 総務費	9 旅費	513	費用弁償	171	
	項	1 総務管理費			普通旅費	342	
	目	7 企画費	11 需用費	37	消耗品費	37	
			12 役務費	15	保険料	15	
		13 委託料	650	青少年日韓交流事業委託料	650		
		19 負担金補助及び交付金	250	補助金	250		
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
35～36	133	1,465				650	815
事業の概要、対象、意図など							
(意図) 平成20年に羅州市との姉妹都市締結15周年を迎えるのを機に、両市における15周年記念事業について官民が一体となった取り組みを行い、姉妹都市との継続的な交流の推進を図る。							
(事業概要)							
①「日韓親善交流の翼～羅州市訪問事業～」 日程：9月下旬(4泊5日) 参加人数：50名 内容：市内探訪、羅州市民との交流、15周年記念式典実施							
②「青少年日韓交流事業」 日程：8月上旬(4泊5日) 受入人数：10名(羅州市の小・中学生) 内容：ホームステイ、交流会、文化・スポーツ体験、交流成果発表等							
歳出積算根拠(金額)							
「日韓親善交流の翼～羅州市訪問事業～」 普通旅費：171千円×2名=342千円 費用弁償：171千円×1名=171千円 海外傷害保険料：5千円×3名=15千円 ※3名：市長、随員職員1名、国際交流員1名 消耗品費：15周年記念式典 記念品代 37千円 補助金：日韓親善交流の翼～羅州市訪問事業補助金 250千円 「青少年日韓交流事業」 青少年日韓交流事業委託料 650千円							
歳入積算根拠(特定財源) 補助対象経費、補助率など							
(特定財源) 「青少年日韓交流事業」 地域国際化施策支援特別対策事業費助成金(財団法人自治体国際化協会) 650千円							

担当課	国民健康保険課																								
事業名	特別医療助成（単市 小学校就学時～中学校就学前児童）																								
予算科目	会計	一般	節			説明																			
	歳入歳出	歳出	区分	金額																					
	款	3 民生費	20 扶助費	14,904	特別医療扶助費	14,904																			
	項	1 社会福祉費																							
	目	5 特別医療助成費																							
予算説明書 （ページ）	金額		左の財源内訳（単位：千円）																						
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源																		
55	0	14,904				6,779	8,125																		
事業の概要、対象、意図など																									
<p>平成19年度市民意識調査において、子育てに関する不安の解消が必要であるとの意見が出されており、その対策として子どもの医療費等の助成制度を充実してほしいとの要望があります。</p> <p>本市「第10次倉吉市総合計画」の重点課題である「若者の定住化促進」を図るためには、結婚や子育てをしている29歳から33歳の年齢層の方の転出の抑制が重要であることから、安心して本市に住み続けていただくよう、小学校就学時から中学校就学前までの子育て支援策の充実を図ることにより子育ての不安を解消し、現在、子育てをしている方、これから子どもを産み育てようとしている方が「子育てをするなら倉吉で」と思われるよう関連する取り組みとしての「子育て支援の充実」を実現するため、特別医療費助成の対象となっていない小学校就学時から中学校就学前までの児童の医療費の助成を平成20年度から単市事業として行う。</p> <p>通院により医療機関に支払う医療費から、同一の月に同一医療機関に4回まで支払う一部負担金相当額（1回当たり530円）を除いた額及び入院により医療機関に支払う医療費から一部負担金相当額（1日当たり1,200円）を除いた額を、申請により償還払いする。</p>																									
歳出積算根拠（金額）																									
<p>平成19年度に単市事業として実施している5歳から小学校就学前までの通院医療費助成金額を推計し、1学年当たりの所要額を3,840千円と算定</p> <p>年齢が上がると受診率が低下することを考慮し</p> <table border="0"> <tr> <td>小学校1年</td> <td>3,840千円×0.8=3,072千円</td> <td>累計</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>3,840千円×0.7=2,688千円</td> <td>5,760千円</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>3,840千円×0.6=2,304千円</td> <td>8,064千円</td> </tr> <tr> <td>4年</td> <td>3,840千円×0.4=1,536千円</td> <td>9,600千円</td> </tr> <tr> <td>5年</td> <td>3,840千円×0.3=1,152千円</td> <td>10,752千円</td> </tr> <tr> <td>6年</td> <td>3,840千円×0.3=1,152千円</td> <td>11,904千円</td> </tr> </table> <p>6学年分の所要額 11,904千円に入院助成所要額 500千円×6学年= 3,000千円を加え、14,904千円とした。</p>								小学校1年	3,840千円×0.8=3,072千円	累計	2年	3,840千円×0.7=2,688千円	5,760千円	3年	3,840千円×0.6=2,304千円	8,064千円	4年	3,840千円×0.4=1,536千円	9,600千円	5年	3,840千円×0.3=1,152千円	10,752千円	6年	3,840千円×0.3=1,152千円	11,904千円
小学校1年	3,840千円×0.8=3,072千円	累計																							
2年	3,840千円×0.7=2,688千円	5,760千円																							
3年	3,840千円×0.6=2,304千円	8,064千円																							
4年	3,840千円×0.4=1,536千円	9,600千円																							
5年	3,840千円×0.3=1,152千円	10,752千円																							
6年	3,840千円×0.3=1,152千円	11,904千円																							
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など																									
若者の定住化促進基金繰入金 6,779千円																									

担当課	福祉課						
事業名	防災にかかる障がい者情報の共有化の同意依頼通知						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	3 民生費	12 役務費	427	通信運搬費	427	
	項	1 社会福祉費					
	目	1 社会福祉総務費					
予算説明書 （ページ）	金額		左の財源内訳（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
48	0	427					427
事業の概要、対象、意図など							
<p>平素より、民生児童委員と障がい者の情報共有を行い災害に備えるため、身体障がいのある方と知的障がいのある方については、郵送により障がい者情報を民生児童委員と共有するための同意を得る。</p>							
歳出積算根拠（金額）							
<p>身体障がい者手帳所持者2,200件、療育手帳所持者310件 合計2,510件</p> <p>①郵送 2,510件×90円=225,900円 ②返信用 2,510件×80円=200,800円</p> <p>合計 426,700円</p>							

担当課	健康支援課						
事業名	妊産婦健康診査（5回の妊婦健康診査の公費負担）						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分		金額		
	款	4 衛生費	13 委託料		12,802	健康診査委託料 12,802	
	項	1 保健衛生費					
	目	1 保健衛生総務費					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
68	6,416	12,802					12,802
事業の概要、対象、意図など							
母子保健法に基づき、妊娠高血圧症候群や心身障がいなどを早期に発見し、適切な援助を講じるため、厚生労働省からの「妊婦健康診査の公費負担の望ましいあり方について」の通知に基づき、すべての妊婦に5回の妊婦健康診査の公費負担を行う。目安となる時期は第1回：妊娠前期、第2回：妊娠前期20週前後、第3回：妊娠24週前後、第4回：妊娠30週前後、第5回：妊娠36週前後でまた、子宮頸部がん検診も選択性にて実施し、若年からのがん検診の受診を勧奨し、安全・安心な分娩を促し、子どもが健やかに育つための環境整備を図る							
歳出積算根拠（金額）							
委託料：第1回：10,500円×470件＝4,935,000円 第2回：1,510円×470件＝709,700円 第3回：3,210円×470件＝1,508,700円 第4回：4,870円×470件＝2,288,900円 第5回：3,210円×470件＝1,508,700円 子宮頸部がん検診：3,260円×470件＝1,532,200円 超音波検査 5,300円×60件＝318,000円							
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など							

担当課	健康支援課						
事業名	妊産婦健康診査(第3子以降妊婦健康診査)						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分		金額		
	款	4 衛生費	12 役務費		53	手数料 53	
	項	1 保健衛生費	13 委託料		1,547	健康診査委託料 1,547	
	目	1 保健衛生総務費					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
68		1,600					1,600
事業の概要、対象、意図など							
第3子以降の妊婦健康診査について5回に加え、前期4回、後期5回の無料受診券を交付し、妊娠中の健康状況を把握し、早期に対処し、流産等の予防をし、安心して出産してもらうため。							
歳出積算根拠（金額）							
手数料：83.70円×70件×9回（前期4回、後期5回）＝ 52,731円 委託料：妊娠前期 1,510円×4回×70件 ＝ 422,800円 妊娠後期 3,210円×5回×70件 ＝1,123,500円							
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など							

担当課	健康支援課						
事業名	食育シンポジウム						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分		金額		
	款	4 衛生費	8 報償費		45	報償金 45	
	項	1 保健衛生費	11 需用費		10	印刷製本費 10	
	目	1 保健衛生総務費	12 役務費		15	通信運搬費 15	
			14 使用料及び賃借料		30	会場借上料 30	
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
67～68		100					100
事業の概要、対象、意図など							
目的：食育推進計画を市民に周知し、実践の啓発を行う。 内容：専門講師の講演及び体験発表をもとに意見交換を行う。							
歳出積算根拠 (金額)							
報報費：講師謝金 45,000円×1人=45,000円 印刷製本費：資料印刷代 10,000円 通知代 15,000円 会場借上料：パークスクエア 30,000円 (小ホール休日1日)							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							

担当課	健康支援課						
事業名	健康づくり体操事業						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分		金額		
	款	4 衛生費	1 報酬		36	委員報酬 36	
	項	1 保健衛生費	8 報償費		1,010	報償金 1,010	
	目	5 老人保健費	9 旅費		91	費用弁償 91	
			11 需用費		50	消耗品費 50	
			12 役務費		442	手数料 428 保険料 14	
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
70～71		1,629		800			829
事業の概要、対象、意図など							
市民の健康づくりを目的として、高齢化社会に対応した介護予防と、日頃の生活習慣を要因とするメタリックシンドロームの予防に着目した体操をそれぞれ作成し、市民がさまざまな暮らしの中でこの体操に気軽に取り組むことで健康に対する意識を高め、ひとりひとりがいつまでも元気で健やかに暮らしていけるよう、広く市民に健康づくり体操の普及啓発を行う。							
歳出積算根拠 (金額)							
普及員養成講座謝金 2,000円×50人×10回=1,000千円 ボランティア保険 14千円 普及用体操撮影作成手数料 428千円 普及用ビデオ・DVD作成代 50千円 旅費 91千円 委員報酬 36千円							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							
県支出金=補助対象経費1,201千円×2/3 (補助率) =800千円 一般財源=1,629千円-800千円=829千円							

担当課	農林課				
事業名	担い手規模拡大促進事業（6年以上の作業受託）				
予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	7,200	担い手規模拡大促進事業費補助金 7,200
	項	1 農業費			
目	3 農業振興費				

予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
79	0	7,200		5,400			1,800

事業の概要、対象、意図など  
 地域の合意により農地の面的集積に関する計画を策定する特定農業団体及び特定農業団体と同様の要件を満たす集落営農組織等の担い手と、担い手への面的集積を進めることに同意する者が同意の上で、面的集積を実現した場合、面的集積を促進するための経費を交付する。  
 対象農地：6年以上の作業受委託契約により新たに面的集積された農用地。  
 交付単価：10a当たり15,000円。

歳出積算根拠（金額）  
 対象面積 4,800a×助成単価15,000円/10a = 7,200千円

歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など  
 （補助率 国1/2、県1/4、市1/4）  
 国 7,200千円×1/2 = 3,600千円 県 7,200千円×1/4 = 1,800千円  
 市 7,200千円×1/4 = 1,800千円

担当課	農林課				
事業名	肉用牛品質向上対策事業費補助金				
予算科目	会計	一般	節		説明
	歳入歳出	歳出	区分	金額	
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	140	肉用牛品質向上対策事業費補助金 140
	項	1 農業費			
目	6 畜産業費				

予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
80	0	140					140

事業の概要、対象、意図など  
 子牛の育成管理において出荷1ヶ月前での削蹄が商品価値を高めるための重要なポイントになる。削蹄は牛の体形維持に大きく影響があり特に子牛の段階では発育面（骨格の形成等）での影響が再認識されているが、子牛出荷前の削蹄はまだ生産現場に普及しておらず市場価格にも影響を及ぼしている。  
 削蹄の必要性を広く普及し、いち早く取組む事によって和牛産地としてのブランド化の足がかりとする。

歳出積算根拠（金額）  
 肉用牛品質向上対策事業 140,000円（補助率：市1/3 農協1/3 畜産農家1/3）  
 削蹄費用 1頭あたり 3,000円  
 削蹄対象 140頭（3年計画で削蹄頭数を増やしていく）

担当課	農林課						
事業名	大鴨地区農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業（基盤整備）						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	6 農林水産業費	9 旅費	38	普通旅費	38	
	項	1 農業費	11 需用費	651	消耗品費	431	
	目	7 農地費			燃料費	100	
					印刷製本費	20	
					修繕料	100	
			12 役務費	50	通信運搬費	50	
			13 委託料	3,475	測量設計委託料	3,475	
			14 使用料及び賃借料	100	機械借上料	100	
		15 工事請負費	11,000	整備工事	11,000		
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
80～81	0	15,314	7,657	750		4,303	2,604
事業の概要、対象、意図など							
本事業は、大鴨地区の未舗装の農道を舗装整備することにより、農家の維持管理労力の低減が図られることで地域の担い手等の意欲増進に結びつき、地域の活性化、定住化に資することを目的としたものである。							
歳出積算根拠（金額）							
農道舗装工事費 11,000千円 測量設計委託料 3,475千円							
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など							
国庫補助金 7,657千円（15,314千円×50%） 県支出金 750千円（15,000千円×5%） 地元負担金 4,303千円（15,000千円×28%+314千円×33%）							

担当課	農林課						
事業名	鳥取県植樹祭開催事業						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	6 農林水産業費	8 報償費	150	報償金	150	
	項	2 林業費	11 需用費	331	消耗品費	300	
	目	2 林業振興費			食糧費	31	
			13 委託料	193	会場設営委託料	193	
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
83～84	0	674					674
事業の概要、対象、意図など							
県民を対象とし、森林の大切さ、人との関わりなどの情報発信し、植樹作業を通して県民みんなで森林を守り育てる意識や緑豊かな郷土を大切にする心を醸成することを目的とし開催する。開催により倉吉市（木の実の里）を県内に広くPRしていく。 植樹祭内容としては、記念式典、記念植樹、森林にふれる催しなどが予定されている。							
歳出積算根拠（金額）							
セレモニー等出演報償金 150,000円 記念植樹用苗木購入費等 300,000円 市主催来賓昼食会費用、接待用湯茶代 31,000円 会場設営委託料（3間5間テント設営・撤去等） 193,000円							

担当課	農林課						
事業名	枯松伐採促進事業費補助金						
予算科目	会計	一般会計	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	6 農林水産業費	19 負担金補助及び交付金	100	枯松伐採促進事業費補助金	100	
	項	2 林業費					
	目	2 林業振興費					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位: 千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
85	0	100					100
事業の概要、対象、意図など							
<p>本事業は、市内の美観の維持及び市民の安全確保を目的とし、枯松の伐採経費を一部助成することにより森林所有者や森林管理者による自主的な枯松の伐採を促進する。</p>							
歳出積算根拠 (金額)							
枯松伐採促進事業費補助金 100千円 (規定単価で算出する伐採経費の3/10を助成)							

担当課	管理課						
事業名	飛龍閣整備事業						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	8 土木費	11 需用費	97	消耗品費	86	
	項	4 都市計画費			燃料費	11	
	目	3 公園費	12 役務費	40	通信運搬費	40	
		13 委託料		2,112	設計業務委託料	2,112	
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位: 千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
99	0	2,249	1,990				259
事業の概要、対象、意図など							
<p>打吹公園にある飛龍閣は、明治40年(1907)に山陰地方を行啓された皇太子(後の大正天皇)の宿舎として建設されたもので、県民の建物100選にも選ばれている。</p> <p>また打吹公園は、平成16年に開園100周年を迎え、記念事業により公園内が整備され、来訪者が増加した。</p> <p>その中で打吹公園の利用者から建物の老朽化や設備の充実を求める声があり、既存建物を改修し活用しながら、打吹公園の歴史や飛龍閣の価値を後世に伝えていくもの。</p> <p>(事業概要) ○皇太子の宿舎であった格式高い飛龍閣の既存建築物を改修、保存するための調査、設計を行う。</p> <p>(対象) 飛龍閣、利用者</p> <p>(意図) 飛龍閣を改修整備し、建物の保存とともに広く利用してもらう。</p>							
歳出積算根拠 (金額)							
事務費 137千円 飛龍閣設計業務委託料 2,112千円							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							
国庫支出金 1,990千円 全体事業費 30,000千円*0.398=11,940千円 (うち、H20年度1,990千円 H21年度9,950千円)							

担当課	建設課						
事業名	臨時河川等整備（福光川整備）						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分		金額		
	款	8 土木費	11 需用費		200	消耗品費 200	
	項	3 河川費	13 委託料		12,797	測量設計監理等委託料 12,797	
	目	1 河川総務費					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
96	0	12,997			12,300		697
事業の概要、対象、意図など							
<p>福光川は準用河川であり、下流は不入岡用水路へ接続する基幹河川である。久米ヶ原台地の排水と久米水田の排水を処理するが、老朽化が著しく隣接する管理道及び畦畔の陥没が生じ河床が土砂で埋まり、排水断面の確保が出来なくなっており早急な整備が必要である。（全体計画延長780m）</p>							
歳出積算根拠（金額）							
測量設計費 12,797千円（福光川改修 L=780m） 事務費 200千円 計 12,997千円							
市債（臨時河川等整備事業債） 12,997千円×95%≒12,300千円							

担当課	建設課						
事業名	洪水ハザードマップ作成						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分		金額		
	款	9 消防費	13 委託料		6,846	調査委託料 6,846	
	項	1 消防費					
	目	4 水防費					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
103	0	6,846	2,282	2,282			2,282
事業の概要、対象、意図など							
<p>洪水時における河川の破堤、氾濫等の浸水情報や避難場所・避難ルートなどの必要な情報を住民にわかりやすく提供することにより、人的被害を未然に防ぐことを主な目的として洪水ハザードマップを作成するものである。</p>							
歳出積算根拠（金額）							
洪水ハザードマップ作成調査委託料 6,846千円							
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など							
国庫補助金（総合流域防災事業費補助金） 6,846千円×1/3（補助率）=2,282千円 県補助金（総合流域防災事業費補助金） 6,846千円×1/3（補助率）=2,282千円							

担当課	景観まちづくり課						
事業名	指定道路図及び指定道路調書作成委託料						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	8 土木費	13 委託料	7,000	指定道路図及び指定道路調書作成委託料 7,000		
	項	1 土木管理費					
	目	2 建築指導費					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位:千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
92	0	7,000	3,500				3,500
事業の概要、対象、意図など							
<p>建築基準法施行規則の改定により、平成22年3月末までに今までに指定している建築基準法第42条第1項第4号、第5号及び第2項道路の道路台帳の整備と情報公開が義務付された。建築しようとする者や土地の売買を行おうとするものに対し、事前に的確な情報提供を行い、負担軽減と、適切な建築確認申請や売買契約の実施を誘導する。平成20年度は昭和28年ごろに撮影された航空写真をもとに道路の種類の評定基礎となる昭和28年の都市計画図を再成する</p>							
歳出積算根拠 (金額)							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							
平成20年度住宅・建築物耐震改修等事業 (国庫補助)							
7,000,000円×1/2 (補助率) =3,500,000円							

担当課	学校教育課						
事業名	「明日の倉吉の教育を考える委員会」事業						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	8 報償費	120	報償金 120		
	項	1 教育総務費					
	目	2 事務局費					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位:千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
106	0	120					120
事業の概要、対象、意図など							
<p>本事業は、市民の参画と協働により、市の実態や特色に応じた倉吉らしさのある教育改革を進め、教育の真の目的を実現するために、明日の倉吉の教育を考える委員会 (以下「委員会」という。)を設置する。委員会は、教育関係団体、有識者、一般公募より委員を構成し、目的を達成するため、「教育改革に関すること」「地域の教育力の向上に関すること」等、教育に関する諸問題に対する協議を行うなどして、意見を聴取する。</p>							
歳出積算根拠 (金額)							
「明日の倉吉の教育を考える委員会」委員謝金 2,000円×15人×4回=120,000円							

担当課	学校教育課						
事業名	複式学級解消教員加配費用協力金						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分		金額		
	款	10 教育費	26 寄附金		16,100	教員加配費用協力金 16,100	
	項	2 小学校費					
	目	1 学校管理費					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
108	4,700	16,100					16,100
事業の概要、対象、意図など							
<p>教員を加配し、複式学級を解消することにより、児童一人一人に応じたきめ細やかな指導の充実を図り、児童の不安や悩みを解消し、楽しい学校生活を送るとともに学力を身につけることができるようにする。</p>							
歳出積算根拠 (金額)							
<p>北谷小4・5年、灘手小2・3年、山守小5・6年  全額協力金による加配 4,700千円×3名=14,100千円  灘手小4・5年 市複式対応による加配 2,000千円×1名=2,000千円</p>							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							

担当課	学校教育課						
事業名	小学校元気はつらつプラン						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分		金額		
	款	10 教育費	4 共済費		38	社会保険料 38	
	項	2 小学校費	7 賃金		6,738	事務賃金 6,738	
	目	2 教育振興費					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
108	1,904	6,776					6,776
事業の概要、対象、意図など							
<p>市内の小学校には特別支援学級に在籍し、個別指導が必要な子ども、通常学級に在籍する発達障がいの子どもの、DVにより一時避難している子ども、幼児期からのしつけが不十分なために集団生活に適應していない子ども等、様々な教育的課題をもち、きめ細やかな対応が必要な児童が見られる。これらの児童に対し個別の対応を行い、落ち着いて学習や生活ができるようにする。</p>							
歳出積算根拠 (金額)							
<p>教員補助臨時職員の雇用 河北小、明倫小、小鴨小、西郷小、上灘小、社小  社会保険料 6,737,280円×5,5/1000=37,056円  賃金 880円×29h/週×4週×11月×6人=6,737,280円</p>							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							

担当課	学校教育課						
事業名	中学校元気はつらつプラン						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	4 共済費	19	社会保険料	19	
	項	3 中学校費	7 賃金	3,369	事務賃金	3,369	
	目	2 教育振興費					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
112	1,904	3,388					3,388
事業の概要、対象、意図など							
<p>市内の中学校には特別支援学級に在籍し、個別指導が必要な子ども、通常学級に在籍する発達障がいの子どもの、生徒指導上の問題を起こしたり深刻な不登校の状況に陥ったりしている子ども等、様々な教育的課題をもち、きめ細やかな対応が必要な生徒が見られる。当該生徒に対し個別の対応を行い、落ち着いて学習や生活ができるようにする。</p>							
歳出積算根拠 (金額)							
教員補助臨時職員の雇用 西中、河北中、東中 社会保険料 3,368,640円×5,5/1000=18,528円 賃金 880円×29h/週×4週×11月×3人=3,368,640円							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							

担当課	文化財課						
事業名	県保護文化財鳥飼家住宅屋根他修繕工事						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	11 需用費	4	消耗品費	4	
	項	4 社会教育費	13 委託料	431	設計監理委託料	431	
	目	3 文化事業費	15 工事請負費	4,305	維持補修工事	4,305	
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
115～116		4,740		1,580			3,160
事業の概要、対象、意図など							
<p>江戸時代に大鳥居村の庄屋であった鳥飼家の住宅は、江戸時代中期(18世紀代)に建築された農家建物として貴重なものであり、昭和49年に県保護文化財に指定された。そして、平成3年度に大鳥居村から関金宿の現在地に移築復元され、平成5年に旧関金町に寄付された。入母屋造り茅葺き平屋建ての建物。移築復元後の時間的な経過により、茅葺きの劣化が進んでいるが、特に南側面の屋根の傷みが大きくこのままで放置すれば雨漏りがはじまり建物が損傷する。このため、屋根南側面の葺き替えをおこない、文化財を適切に保護する。</p>							
歳出積算根拠 (金額)							
鳥飼家住宅屋根他修繕工事設計監理業務委託料 431千円 鳥飼家住宅屋根他修繕工事 4,305千円 事務費 4千円							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							
県補助金 (指定文化財補助金) 4,740,000円×1/3=1,580,000円							

担当課	博物館						
事業名	昭和レトロ展 情景王 山田卓司の世界						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	7 賃金	804	事務賃金	804	
	項	4 社会教育費	11 需用費	87	消耗品費	20	
	目	6 博物館費			印刷製本費	67	
			13 委託料	3,150	展示作業委託料	3,150	
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位:千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
118~119	0	4,041				4,041	0
事業の概要、対象、意図など							
昭和30年から40年代の懐かしい情景をジオラマ作家山田卓司の作品で紹介する展覧会。旧アーケードのジオラマも展示し、「遙かなまち倉吉」のイメージアップをはかる。							
歳出積算根拠 (金額)							
展示監視員 804千円 消耗品費 20千円 印刷製本費 67千円 展示作業委託料 3,150千円							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							
入館料収入 4,041千円							

担当課	博物館						
事業名	倉吉の美術100年展						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分	金額			
	款	10 教育費	7 賃金	155	事務賃金	155	
	項	4 社会教育費	11 需用費	550	消耗品費	20	
	目	6 博物館費			印刷製本費	530	
			12 役務費	767	通信運搬費	520	
					手数料	147	
					保険料	100	
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位:千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
118~119		1,472		500		990	-18
事業の概要、対象、意図など							
倉吉における近代美術100年の歴史を振り返り顕彰する。							
歳出積算根拠 (金額)							
展示監視員 155千円、 消耗品費 20千円、ポスター・チラシ等印刷 530千円 運送・展示作業費 520千円 手数料 147千円、保険料 100千円							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							
県補助金 (魅力ある展示支援事業費補助金) 500千円 入館料収入 990千円							

担当課	学校給食センター						
事業名	給食センター（公会計化に伴う賄材料費の計上）						
予算科目	会計	一般	節			説明	
	歳入歳出	歳出	区分		金額		
	款	10 教育費	11 需用費		260,570	賄材料費	260,570
	項	5 保健体育費					
	目	3 学校給食センター費					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳（単位：千円）				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
126	0	260,570				251,254	9,316
事業の概要、対象、意図など							
小学校（教職員・センター職員を含む）3,069人、中学校（教職員を含む）1,649人分の給食食材料の購入費。年間給食数を200食として計上している。							
歳出積算根拠（金額）							
小学校：主食（パン） $38.38円 \times 3,069人 \times 80回 \times 1.05 = 9,894,211円$ 主食（米飯） $50.59円 \times 3,069人 \times 120回 \times 1.05 = 19,562,850円$ 牛乳 $37.58円 \times 3,069人 \times 200回 \times 1.05 = 24,219,935円$ 副食 $163.4円 \times 3,069人 \times 200回 \times 1.05 = 105,309,666円$ 小学校 158,986,662円 中学校：主食（パン） $40.79円 \times 1,649人 \times 80回 \times 1.05 = 5,650,068円$ 中学校 101,582,788円 主食（米飯） $54.90円 \times 1,649人 \times 120回 \times 1.05 = 11,406,793円$ 合計 260,569,450円 牛乳 $46.98円 \times 1,649人 \times 200回 \times 1.05 = 16,268,705円$ 副食 $197.11円 \times 1,649人 \times 200回 \times 1.05 = 68,257,222円$							
歳入積算根拠（特定財源） 補助対象経費、補助率など							
小学校： $259円 \times 3,069人 \times 200食 \times 98\% = 155,794,716円$ 中学校： $308円 \times 1,649人 \times 200食 \times 98\% = 99,546,832円$ 3割減免： $(-259円) \times 263人 \times 200食 \times 0.3 = -4,087,020円$ 計251,254,528円							

担当課	倉吉駅周辺整備事務所						
事業名	上井羽合線沿道土地区画整理事業						
予算科目	会計	上井羽合線沿道土地区画整理事業		節		説明	
	歳入歳出	歳出		区分	金額		
	款			1 報酬	44	委員報酬	44
	項			9 旅費	67	普通旅費	67
	目			11 需用費	497	消耗品費	497
				12 役務費	153	手数料	153
				13 委託料	15,473	測量設計委託料等	15,473
				14 使用料及び賃借料	897	機械・建物借上料	897
				15 工事請負費	15,000	整備工事	15,000
				17 公有財産購入費	1,505	土地購入費	1,505
				19 負担金補助及び交付金	40	負担金	40
			22 補償補填及び賠償金	1,100	補償金	1,100	
			23 償還金利子及び割引料	56,561	償還金、利子	56,561	
	計				91,337		91,337
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位：千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
74～75	399,139	91,337	6,500		24,300	60,537	
事業の概要、対象、意図など							
<p>本地区は、JR倉吉駅の北側に位置している。住宅地域は狭小・未整備な細街路が多く、狭小住宅の密集、用途の混在等、適正な土地利用計画がなされていない。さらに雨水幹線が横断し地区を分断しているため一体的な土地利用ができない状況にある。</p> <p>このため区画整理事業の面的な基盤整備により都市計画道路等公共施設の整備改善及び適正な土地利用計画のもと良質な市街地を創出するとともに、中部圏域の玄関口にふさわしいまちづくりを実現する。</p> <p>○施行面積 4.96ha</p>							
歳出積算根拠 (金額)							
事業費							
委託料 15,473千円 (事業計画変更業務、出来形確認測量業務他)							
道路築造工事 12,000千円							
宅地造成工事 3,000千円							
市道用地 1,505千円							
物件移転補償費 1,100千円							
事務費 1,698千円							
計 34,776千円							
公債費							
公債費 (元金) 22,749千円							
公債費 (利子) 33,812千円							
計 56,561千円							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							
国庫補助金 (まちづくり交付金) 交付金対象額 19,000千円×34.2%≒6,500千円							
市債 (合併特例事業債) 起債対象額25,704千円×95%≒24,300千円							

担当課	商工観光課						
事業名	施設管理						
予算科目	会計	国民宿舎事業	節				説明
	歳入歳出	歳出	区分		金額		
	款	1 維持管理費	11 需用費	800		修繕料	800
	項	1 施設管理費	15 工事請負費	7,024		維持補修工事	7,024
	目	1 管理費	18 備品購入費	3,518		機械器具費	3,518
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位: 千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
111	20,367	11,342				11,342	0
事業の概要、対象、意図など							
国民宿舎の管理運営が指定管理者の(株)レパストに移行して2年目を迎えますが、施設設備等が経年劣化しており年次的に補修及び更新を行うものです。特に要望のあった別館各階底改修と厨房設備として自動食器洗浄機を新規に購入することとしたものです。このことにより国民宿舎建物の外観を修復するとともに、食の安心安全を確保し利用者に快適なサービスを提供するものです。							
歳出積算根拠 (金額)							
①維持補修工事 別館各階底改修 (鋼板横葺き) 7,024千円							
②機械器具費 自動食器洗浄機 (ラックコンベア型) 3,518千円							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							

担当課	商工観光課						
事業名	公債費 (元金)						
予算科目	会計	国民宿舎事業	節				説明
	歳入歳出	歳出	区分		金額		
	款	2 公債費	23 償還金利息及び割引料	49,788		償還金	49,788
	項	1 公債費					
	目	1 元金					
予算説明書 (ページ)	金額		左の財源内訳 (単位: 千円)				
	前年度	本年度	国庫	県	地方債	その他	一般財源
111	53,551	49,788				49,788	0
事業の概要、対象、意図など							
国民宿舎グリーンスコーレせきがねの建設資金として借り入れた企業債 (元金) を償還するもの。							
歳出積算根拠 (金額)							
企業債償還金							
平成9年2月20日借入分 43,293,009円							
平成8年3月25日借入分 6,494,007円							
計 49,787,016円							
歳入積算根拠 (特定財源) 補助対象経費、補助率など							

基金の内訳

(単位：千円)

区 分	19年度末 (3月補正後) 見込額 A	20年度	20年度	20年度末 見込額 A+B-C
		積立見込額 B	取崩見込額 C	
文 化 基 金	4,948	212		5,160
博 物 館 資 料 整 備 基 金	4,407	1,502	2,000	3,909
緑を守り育てる基金	15,699	117	1,032	14,784
職 員 退 職 手 当 基 金	629,757	3,008	300,000	332,765
公 共 施 設 等 建 設 基 金	86,235	379		86,614
教 育 振 興 基 金	150,936	660	205	151,391
ふるさと農村活性化基金	17,731	77		17,808
集 落 排 水 事 業 推 進 基 金	583,163	9,812	41,796	551,179
若者の定住化促進基金	1,371,812	6,024	7,836	1,370,000
財 政 調 整 基 金	264,508	1,420	1,420	264,508
減 債 基 金	382,192	5,830	237,717	150,305
計	3,511,388	29,041	592,006	2,948,423